

市内各地でコンサート開催 吉川区のコンサートでは「かちやの歌」も登場

先週はクリスマスを前に直江津のライオン像のある館や吉川コミュニティプラザなど市内各地でコンサートが相次ぎました。

このうち吉川区では恒例の「ほっとホットコンサート」(21日開催)が大盛況で、観客が会場に入りきれない事態となりました。「ほっとホットコンサート」は「夢をかなえる会」が主催。今年も吉川中学校吹奏楽部、オカリナのポツポ&うぐいす、コーラスサークルゆりかごのみなさんなどが出演して盛り上げていました。曲のなかにはクリスマスソングが入って、この時期らしい、素敵なコンサートとなりました。



かわった『かちやの歌』もコミュニティバンド・「ピアス」の皆さんによって歌われました。2年前に亡くなった母のことはエッセイでは何度か書いてきましたが、いつか歌にしたいと思っていました。その夢がこの日、叶えられました。歌はピアスの人たちの惜しみない協力で出来上がりました。ボーカルのマコさんは塗装の仕事をしていた亡き弟・勇の元勤め先の娘さんです。歌詞の中に「イサム」の3文字を入れてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

ほくほく線うらがわら駅では駅舎活用イベント

22日、ほくほく線うらがわら駅でのイベントに行ってきました。このイベントは地域独自予算事業の1つで、駅舎を利用したカフェをやってマイルール意識を醸成しようというものです。実施主体はNPO法人夢あふれるまち浦川原です。

企画では、駅舎の待合室の一角にピアノが設置されたことを機に、コーヒーを飲みながら、ピアノとサックスの演奏、歌、踊りなどを楽しみました。ピアノとサックス以外の演奏、踊りは地元浦川原の皆さんが披露し、盛り上げておられました。

これまでローカル線の駅利用については、虫川大杉駅前広場での大浦安元気市にしか行ったことがありませんでした。今度のような駅舎利用でほくほく線利用促進と地域活性化をねらった取り組みは初めてです。今回の事業を契機に、今後、駅利用を意識した取組を発展させたいものです。



【ヒヨドリジョウゴ】
ナス科の多年性植物。漢字で「鶉上戸」と書きます。雪があるなかで、この小さな赤い実を見つけると、うれしくなります。花期は8月～9月。白色の小さな花を咲かせます。個性的な花なので、目立ちます。花言葉は「真実」「清楚」「期待」など。写真は12月14日、頸城区玄僧にて撮りました。



県道上越安塚柏崎線大島区板山地区で発生した地滑りの災害復旧工事がこのほど完了し、12月24日の午前10時から通行できるようになりました。写真は同日の11時過ぎに撮影したものです。



No.2186 2024.12.29
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3627
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <https://www.hose1.jp/>

はしづめ法一の活動レポート

ブログ「ホーセの見である記」はこちら
橋爪法一 検索

春よ来い

第八三三回

ハプニング

まったく予想していませんでした。でも、後から考えてみたら、こういうことが起きてもお不思議ではなく、ありうる話だったのです。

先週の日曜日の午前のことです。いよいよ冬だなと感じさせる強い風が吹いているなか、長い屋根付きの廊下からほくほく線うらがわら駅の待合室へと歩く人が続きました。

この日は午前一〇時から、うらがわら駅で「えきカフェ」を行うことになっていました。駅舎の中でコーヒーなどを飲み、みんなで楽しく交流しましょうというイベントです。

当初の企画では、ピアノの演奏があり、地元の方が歌や舞踊を披露されるという内容だったようです。それに加えて、今年、コウノトリのカップルが上越で営巣、四羽のヒナが誕生して大きな話題となったことから、私のコウノトリの観察報告もあから入りしました。

待合室では、開会の一時間ほど前からNPO法人夢あふれるまち浦川原のスタッフの皆さんが舞台づくりをしたり、熱風オイルヒーターをセットして部屋を温めるなど準備を着々と進めていました。私はスタッフの方が持つて来てくださったパソコンを動作させ、用意してきた画像をスクリーンに映し出すことができたかどうかなどのチェックをしました。こうして準備は無事終わり、あとは本番を待つばかりとなりました。

午前一〇時、いよいよ本番開始です。冒頭、NPO法人夢あふれるまち浦川原の代表である藤田さんが挨拶、ほくほく線への思いと今回のイベントをからめて熱く語られました。黄色いシャツと濃いブルーのネックチーフを身につけた藤田さんの服装はおしゃれで、このイベントへの意気込みを感じさせる素敵なお衣装。

挨拶が終わると、この日のために音楽グループ、「真理子&伸」を結成したというお二人がドラえもん「ひまわりの約束」、クリスマスソングの「きよしこの夜」などを演奏して六〇人近い聴衆を音楽の世界にいざないました。続いて、地元の春日久代さんや高橋春美さん、福井克利さんが次々と美声を披露、歌は待合室の狭い空間から外にも広がっていききました。

十一時近い時間になって、いよいよ私の出番がやってきました。この日のために用意してきたコウノトリの数々の画像をカメラで見えていただき、ほくほく線沿いの池や田んぼなどで見かけたコウノトリのいる風景も見ていただく予定でした。

ところが、スクリーンに画像を映そうとした直後、プロジェクターもスクリーンもダウンしてしまっただけです。イベントのスタッフの皆さんが大急ぎで復旧させようと動き回りました。しかし、時間はどんどん過ぎていきます。

こうなったら、カラーの画像を映し出すのは断念するしかない。あとは事前に準備していた白黒の画像入りレジメに基づいて話をしよう、そう決意してしゃべりはじめました。コウノトリとの出会い、コウノトリについての豆知識、観察のポイントなどをエピソードを交えて語りました。

スクリーン上映なしでの話が終わりに近づいてきたとき、プロジェクターなどの電源がようやく入りしました。時すでに遅しの感がありました。皆さん、真剣に聴き入ってくださいました。有難いことです。

普段は使うことのない二台の熱風オイルヒーターとスタッフの皆さんが配ってくださった暖かいコーヒーのおかげで参加者の身も心も温まったのですが、まさか駅舎の電気ブレーカーが落ちるとは……。でもこのハプニングがあったおかげで、このイベントは忘れられない思い出になりました。

活動レポートでの今年の10大ニュース

- ①中川市長による市内化学工場の高卒者差別発言が全国ニュースに。辞職勧告決議は可決されたものの、不信任決議は否決に。(6月、9月)
- ②コウノトリが吉川区で営巣し、5月に4羽のヒナが誕生。7月には無事巣立つ。「日本最北の地での営巣」、これも全国ニュースになりました。
- ③市議選で日本共産党3議席死守。新人は11人が当選。(4月)
- ④総選挙、新5区で梅谷氏圧勝。北陸信越ブロック比例で日本共産党議席奪回ならず。(10月)
- ⑤新潟労災病院守れの運動など活発化。上越地域医療センター病院の改築先延ばしに怒りの声。上越地域医療をめぐる動きは目が離せない状態に。
- ⑥津波想定総合防災訓練、初めて実施。(10月)
能登半島地震による津波被害と対策の検証文書、まとまる。(12月)
- ⑦上越でも「学びの多様化学校」創設へ。(12月)
- ⑧初めて橋爪法一の「小さな作品展」開催。イラスト、コウノトリ観察写真、エッセイ集展示。(7月)
- ⑨ピアスの新曲、「コウノトリさん、ありがとね」が大きな話題に。「かちの歌」の作詞にもかかわる。私にとっては初の作詞活動。
- ⑩「春よ来い」シリーズ、800回超える。エッセイ集『春になったら』『春になったら2』発刊。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月18日(水)	12月25日(水)
上越消防署	0.050	0.053
上越南消防署	0.057	0.043
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.057	0.063
東頸消防署	0.050	0.040
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.050	0.050